



高野町は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の霊場である高野山がある町である。弘法大師空海によって紀伊山地に真言密教の修行の場として開かれた高野山では、その地理的環境から独特な活動等が継承されている。中世の権門に端を発し、庶民にまで広く浸透した「高野参詣」、山深い紀伊山地のため自生する「高野槇を供花」する独特な風習、僧侶中心の宗教儀礼から住民主体の祝祭・祭礼に発展した「宗祖降誕会（青葉まつり）」、萬燈会から連綿と続く「燈明信仰」、神仏習合の姿を残す祭礼である「明神社秋季大祭」、女人禁制であった高野山を支えてきた「周辺の集落の祭礼」など、高野町固有の歴史的風致が形成されている。

1. 高野参詣にみる歴史的風致

高野参詣の関連遺産に拝礼しながら参詣する姿や道普請等の地域の人々のもてなしは、今も大師信仰によって支えられているものが大きい。遠くから高野山を目指してくる人々の想いと地域の人々のもてなしの心が、歴史的遺産の風景と重なり合い、高野町独特の歴史的風致を形づくり、これからも継承されていく。



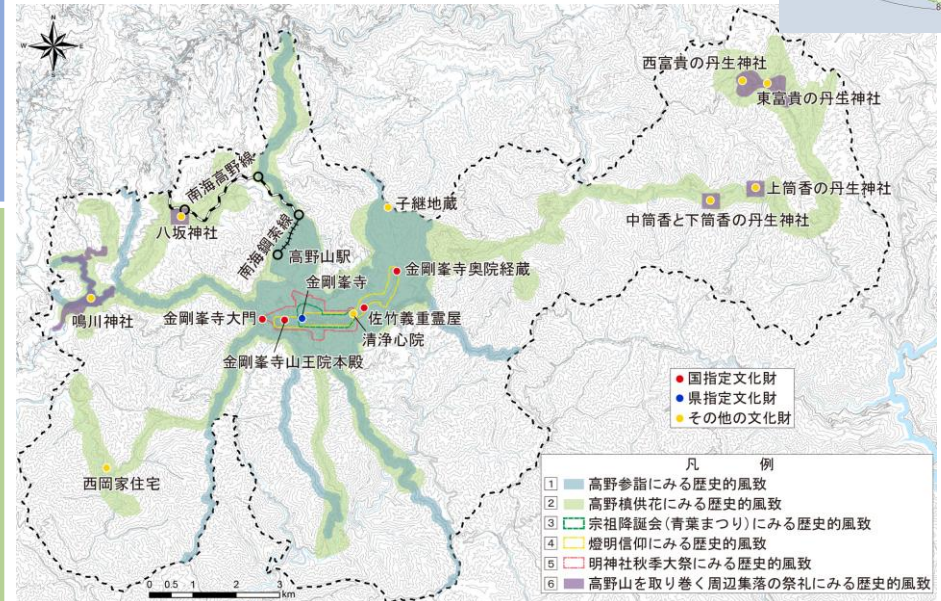
町石道を歩く参詣者

2. 高野槇供花にみる歴史的風致

高野槇は、その名からも想像されるように、高野山と非常に関係の深い植物である。高野山では、古来より高野槇は霊木として保護育成されてきた。高野山を中心とした地域では、多くの歴史的建造物や石造物に高野槇が供花され、集落の周辺には整った槇畑が広がり、町中では参詣土産に高野槇を求める参詣者と販売する住民の姿がみられる。このような真言密教の根本道場である高野山と高野槇の関係により形成された独特の景観は、後世に伝えていくべき歴史的風致である。



高野槇を供える姿



3. 宗祖降誕会（青葉まつり）にみる歴史的風致

「宗祖降誕会」という宗教儀礼を軸とする「青葉まつり」は聖俗を問わない地域住民が一体となって、まさに高野山全山を挙げて行われる祝祭・祭礼である。町中を練り歩く「花御堂渡御」は、高野山の歴史を表す貴重な民俗であると共に、その聖俗一体となった視聴覚的な景観は、後世に伝えるべき貴重な歴史的風致である。



青葉まつり

4. 燈明信仰にみる歴史的風致

燈明信仰は、燈火を用いた宗教儀礼である「萬燈会」に始まり、「先祖供養」として発展し、庶民にまで浸透していくことで、「火」にまつわる信仰の歴史が受け継がれ、現在、「ろうそく祭り」という形で山上を幻想的に彩っている。人々の手による灯火を用いて照らし出される景観は、今や奥之院だけでなくまちなかにも拡がりを見せており、高野山の特色を顕著に表す歴史的風致である。



ろうそく祭り

5. 明神社秋季大祭にみる歴史的風致

明神社秋季大祭は、高野山上の主要な歴史的建造物を網羅するように神輿が渡御するもので、真言密教の根本道場として現在まで守り伝えてきた社寺とそこで修行する僧侶、生活する住民が一体となって行なわれる祭礼は、後世に伝えていくべきものであり、高野町を代表する歴史的風致である。



明神社秋季大祭

6. 高野山を取り巻く周辺集落の祭礼にみる歴史的風致

高野山を取り巻く周辺集落の祭礼のうち、富貴の秋祭りは、江戸時代に熊野へ向かう街道筋の宿場町として栄えた富貴の姿を偲ばせるものである。花坂の鬼もみは、高野参詣の宿場町として栄えた花坂の賑わいを残しつつ、地域の人がお互いのつながりを深め、子どもたちにとっても、ふるさとの記憶となっていく祭りである。細川の傘鉾祭りは、農村ならではの雨乞いや疫病除けを祈り、地域で伝承を守って連綿と続けられている。筒香の秋祭りは、地域のつながりを保ちながら、村人どうしの結びつきを強くしてきたものである。

このように高野山を取り巻く周辺集落の祭礼は、それぞれの地区により祭りの形態は違うが、各集落独特の祭りの文化を保ちながら、人々の結びつきを強くしてきたものである。高野山と各地域の繋がりの中で続けられてきた祭りの景観は、後世に伝えていくべき歴史的風致である。



神輿渡御（富貴）

本町に所在する文化財の多くが集積し、かつほとんどの歴史的風致が展開されている高野山地区内部で設定する重点区域において、史跡金剛峯寺境内等の歴史的建造物の保存・活用、まちなみ等景観形成、歩行環境の整備、回遊性の向上、伝統行事等の継承及び活性化に取り組む。重点区域での取組は、その他の歴史的風致の維持向上にも効果が波及し、歴史的風致への関心を高め、歴史的建造物の保存・活用や伝統行事の継承活性化を進めることにつながり、本町全体において歴史と伝統が暮らしの中に息づくまちづくりを目指す。

⑤公園整備事業

金輪公園周辺には金剛峯寺徳川家霊台や多くの歴史的建造物がある。周遊者や地域住民が利用できる休憩所などを兼ね近隣の修景にも考慮した公園整備を推進することにより、歴史文化を生かした景観の向上を図る。



金輪公園

⑥歴史的風致形成建造物保存整備事業

重点区域内に点在する寺院や堂塔等の歴史的建造物について、保存活用を図るため、歴史的風致形成建造物に指定し、修繕や耐震・防災対策等を行う。金輪公園の整備に合わせ、公園内にある金輪塔の整備を図る。



金輪塔と金輪公園

⑬観光案内標識の充実整備事業（統一化）

文化財等の歴史資産や歴史的なまちなみ等について、多言語解説及び二次元コード付の案内板や標識を整備することにより、外国人観光客等へ効果的な情報発信を図る。



観光案内板イメージ

⑭高野山学推進事業

弘法大師空海が開創して以来、歴史と文化によって育まれた「高野山」を歴史、思想、芸術、信仰、自然、政治、建築等の様々な視点から体系的に学び、再発見する機会を提供する。



高野山学基本講座の様子

